

【NEWS RELEASE】

2022年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

ハウスホールドジャパン株式会社に「SDGs推進融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、ハウスホールドジャパン株式会社（代表取締役社長：野崎 治雄）に「SDGs推進融資」を実施いたしました。

「SDGs推進融資」は、融資実行時に、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が、企業のSDGs（※）に関する現状の取組状況を確認した上で、本業を通じたSDGs貢献への道すじ（ロジック）を分析し、SDGsの取組推進に向けたアドバイス等をご提供する融資商品です。

今回対象となりました、ハウスホールドジャパン株式会社については、以下に記す事業を通じて、SDGsの目標達成に向けた貢献が期待できると判断されました。

- ① 再生原料を使用したポリ袋の製造や製品の軽量化を通じた、資源の効率的な利用・廃棄物削減への貢献

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用および再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。
	12.2 2030年までに天然資源の持続可能な管理および効率的な利用を達成する。

- ② 生分解性レジ袋の開発・製造・販売を通じた、海洋汚染に対する消費者の意識の啓発

目標 12 つくる責任 つかう責任	12.8 2030年までに、人々があらゆる場所において、持続可能な開発および自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようにする。
-------------------------	--

三井住友銀行では、「SDGs推進融資」により、本業を通じ、SDGsが達成される社会の実現に貢献をしております。



国内の物流会社で使用されたストレッチフィルムを回収し、再生原料に加工します。その再生原料を100%使用して作られたごみ袋です。製造段階においてバージンの原料を使用したごみ袋より約60%のCO₂削減効果があります。



植物由来の生分解性プラスチックで作られたレジ袋です。海の中でも海中の微生物の働きにより、約1年で90%が水と二酸化炭素に分解されます。そのため、従来のレジ袋とは異なり、万が一海に流出した際にも海洋汚染を抑える事ができます。

<ご参考>

※ SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。